

今月は子ども読書リーダー養成講座が行われました。「調べる」それは図書館員の仕事の中でもとても重要な仕事です。今月は養成講座に参加できなかった子ども講座の内容が体験できるような本をご紹介します。

『本で調べてほうこくしよう』

赤木 かん子／著 mitty／絵 ポプラ社 2011年 2100円

<お勧め年齢>

幼稚園☆☆☆ 小低学年★☆☆ 小中学年★★☆ 小高学年★★★ 中学生★☆☆
高校☆☆☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

何かについて調べたことがありますか？ もしかしたら宿題で調べてめんどうだったり、いやだったりしたかもしれません。でもじつは、やりかたを知ってさえいけば「調べる」ってとってもおもしろいことなのです！

この本では「調べる」ときはどんな順番で、どんなふうに調べていけばいいかがわかりやすくなっています。このやりかたがわかればきっと宿題なんかでなくてもなんでも調べたくなりますよ！

<子どもに手渡すときのポイント>

「読書」と聞いて＝「物語」を思い浮かべる人はとても多いのではないのでしょうか？ けれども本当の読書の中では物語はほんの一部に過ぎません。また、生涯にわたって読書とつきあっていくためには、この「調べる」技を手に入れることが不可欠です。本を読んで感動するのは何も物語だけではありません。優れた理論書や実用書は物語と同じくらい、いや、それ以上の感動を私たちに与えてくれるものです。そのような本にめぐり合うためには、「調べる」方法を知っておく必要があります。物語をすすめるのと同じくらいに、ぜひ子どもたちに「調べる」技を教え、子どもたちの読書の幅を広げてあげてください。

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店にあります。ぜひ手に取ってみてください。



子ども図書館 重村 さやか